

# 金木 だより

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

## 町の人口と世帯数

人口	男	7,319
	女	7,452
	計	14,771
世帯数		3,639

(S 50.6.1現在)

## ま ち の 話 題 !!

### ◎ 蔦小に「門柱」寄贈

五月三十一日、三上誠三さん（三上高速石材KK社長）は母校である蔦田小学校に門柱をプレゼントしました。それまで蔦田小学校では道路端に門柱がありませんでしたが、こわれてしまったために、三上さんの寄贈となったわけです。このほかに、三上さんは、蔦田小学校玄関にセメントを敷いたり、壁の修理をするなど、総額三十万円余りのサービスをしてくれました。



### ◎ 金木町に三十万円の寄付

福田元信さん（米町・有会社ふくだ社長）は、六月十二日、金木町に現金三十万円の寄付採納を申し出ました。金木町の財政を少しでも手助けできれば、という福田さんの善意に、町長は、社会福祉関係に大切に使用したい、と語っていました。



### ◎ 公民館に桜のプレゼント

六月十二日、金木中学校より金木町中央公民館へ桜の大木がプレゼントされました。苗木なら簡単に植えられるけれども、大木だ。もういかならない。そこで、「私たちが植えてあげますよ」という人たちがあつまり、その夜、公民館わきに植えられた。

近代的な公民館ができたが、周辺が殺風景であっただけに、このプレゼントは関係者に喜ばれている。

### ◎ グランドに便所がつく

朝野球などで町民に利用されている芦野グラウンドに、中谷享さん（中谷石油店主）は便所を無料で設置しました。これまで、芦野グラウンドには便所がなかったため、利用者には大変不便をかけたいたので、このプレゼントは町民にとってもよろこばれています。



### ◎ 川倉小に松を移植

川倉部落民は、大木の松を二十本、川倉小学校の校庭に移植しました。学校のまわりに植えられた緑の松にかこまれて、勉強する子どもたちは、松のようにすくすくと明るく育っていくことでしよう

### ◎ 交通安全に一役

宮丸恒信さん（千登勢寿し店主）は、千登勢寿し開店十周年を記念して、交通安全に協力できれば、と、警官ロボットを二体（うち一体は中里町安協に）安全協会へ寄贈しました。（約十万円相当）

## 金木町農業委員会委員選挙

# 7月15日投票日

## 告示は七月八日

七月十九日で任期満了となる金木町農業委員会委員の選挙は、七月八日告示、同十五日投票日と決定しました。

選挙区については旧金木・嘉瀬喜良市の三つで、定数は金木七名、嘉瀬五名・喜良市三名となっています。

また、投票日（十五日）については、自治省・農林省の協議のもとに、十九日任期満了となる分を

全国統一で行なうことになったもの

なお不在者投票は、八日から十四日までの、午前八時三十分から午後五時までは、投票日当日の投票時間は各投票区とも、午前七時より午後六時までは、（ただし大東ヶ丘は、午前八時より午後五時まで）

投票日には、ひとりの棄権者もでないよう必ず投票しましょう。

# 秀峰岩木を

## 朝夕の友として



蒔田小学校長

花田 証 二

### ●本校の実態

学級数 五学級（複式学級一）  
教員数 七名

児童数 六十八名

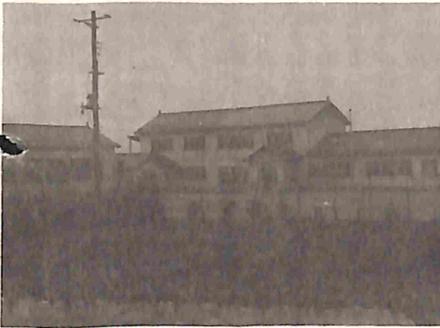
学区の児童数は、昭和三十三年度百六十六名を最高に、以後年々減少し、現在は六十八名の在籍となっている。なお、五十五年度にはさらに減少し、三学級となる予定である。

創立は明治十四年三月十日、蒔田簡易小学校として開校、同十九年三月蒔田尋常小学校と、さらに同三十六年六月八日金木第三尋常小学校と改称されている。なお昭和十一年四月一日、金木尋常小学校蒔田分教場と改め、四学年まで二学級編成となった。その後、同十三年四月一日、第六学年まで收容し、三学級編成となり、同十五年三月三十日、分教場を廃止し蒔田尋常小学校を設置することになったのである。同十六年四月一日、蒔田国民学校、同二十二年の六・三制により金木町立蒔田小学

校と改称、同三十年九月二十日、蒔田字桑元四十番地より現在地に新築移転し現在に至っている。創立以来九十四年の歴史をきざんでいる。

### ●本校の努力目標

本校の児童は明るく素直で下級生の面倒をよく見、全く申し分のない子ども達ばかりではあるが、一面、雑草の持つねばり強さに今



少し不足している。このねばり強さに欠けることが、実践力を乏しいものにし、明るくなんでも話せる反面、あらたまった場所での発表力に欠ける等の欠点を持っているのである。そこで、本校では次のような努力目標を設けた。

- 一、生活のすべてに根気を持って接している。
- 二、進んで学習する子どもになる。
- 三、読書する習慣を身につけ、豊かな心と、発表力を持つ子どもになる。
- 四、明るく健康な子どもになる。

この四つを主体として、学習に日々の生活に、欠点追放のためと取り組んでいる。

まず、根気強さを養うための一つとして、体力づくりが必要と考え、ここ数年、晴天時は全校マラソン、雨天の場合はなわとび運動を継続的に実施した結果、インフルエンザで休校したり学級閉鎖をしたりということが近年ない点を見ると、効果が現われているのではないかと思われる。これをさらに学習面にのばすくふうを試みている。

また情緒面では、学校図書館の利用を学習の場にも取り上げ、読書意欲の喚起を図り、自ら考え、考えたことを書き、それを人前で堂々と話せるような子どもになろうとお互に励ましあっている。この励ましあい、除々に効果を表わしていることが、最近の図書館利用者がふえたこととわかつて思う。また事実、読書感想文が相当上手に書けるようになったことも

効を奏してきたものと思っている。この図書利用の現状を突ば口に自主的な学習態度の確立を図りたいものと思ひ、学校の研究課題として、蒔田小学校を語るに特筆してはばからぬものが一つある。それは四十七年七月二十五日、少年野球大会北郡予選で堂々と優勝したことである。四年生以上男子全員野球クラブ員であり、放課後は、われ先にと校庭に出て練習する姿は全くほほえましい限りであった。あの時の感激が今でも語り継がれ、スポーツ振興、体力づくりの大きな原動力となっていることは見のがせない事実である。また、あの優勝の陰には父兄の絶大な応援があったればこそ、あのよな喜びを味わいえたのであると思っている。優勝後、ただちに、地域住民全員加入のスポーツ後援会を結成し、来るべき県大会出場の準備にとりかかり、側面から援護を惜しみなく与えてくれる村民の熱意には全く頭が下がる思いであった。大会当日の応援も百数十名が県営野球場に駆けつけてくれた事実は感激そのものでした。文字通り、蒔田の老若男女総出の感があったのです。結果善戦むなしく敗れたとはいえ、このがっちりスクラムを組む協力体制は他地域では絶対まねの出来ないものであらうと確信している。この体制は現在もくずれることはない。

P.T.A活動も会長を中心として学童の健全な育成のため、自主的積極的な活動には常に深く感謝している。話は飛躍するが、春の運

**会 員 募 集**

- 薬草の会
- 座禅の会
- 日曜百姓の会
- 日曜競歩・日曜マラソン
- 日曜散歩の会

会員を募集しています。入会希望者は役場企画室まで申し込んでください。

動会に見られる小屋がけの風景も他から見ると、旧態依然とした風習として進歩のないことと笑う向きもあるが、あの小屋の屋根の下はまるで一軒の家そのものなのである。個人の小屋が一軒もないのである。一つの屋根の下に蒔田全体が入って重箱をあげている光景は価千金の重みとなって子どもたちに映っていると思う。とかく人間的なふれあい失なわれている昨今、このような家庭的雰囲気は大事にしたいものと思う。

朝な夕な岩木の峰を友として学べる蒔田小学校は、岩木のお山の如く清く豊かな情操と、根を深く広く張り合っている雑草のようなくまじしい根情とを持ち、進んで学習し、進んでものを考え、書きそれを相手によくわかるように上手に発表できる子どもにしたいと考え、学童六十八名と職員七名が欠点克服のため頑張りだと思っている。

# 税金のことは

## 税務課へ

税金は、国や県や市町村のいろんな仕事に使われ、私達の日常生活と深いつながりをもっています。近年の目覚ましい経済の発展は、所得の向上や豊富な消費物資の供給をもたらして日常生活の水準を向上させました。その一方で、物価上昇や公害、過疎過密などの新しい問題も出て、その解決も図らなければなりません。

一般社会生活の活動がスムーズに行われるように、公共施設の整備をしていくなどの仕事をしていくためには、多額の資金が必要です。それを税金として負担していかねばなりません。

それでは税金の種類にはどんなものがあるか簡単にまとめてみます。

◇町県民税  
所得の多少に関係なく(満二〇才以上)一人いくらというように決められている会費の性格をもつ均等割の税額と、その前年の所得に応じてかかる所得割の税額との合計額。

◇固定資産税  
土地、家屋、事業用機械などの所有者に対し課税されます。但し評価額が少ない場合(土地十五万円以下、家屋八万円以下、事業用機

械一〇〇万円以下)は課税されません。

### ◇軽自動車税

軽自動車、オートバイ、スクーターなどに対し、その所有者に課税されます。

### ◇市町村たばこ消費税

その市町村内のたばこの売上げに對して、日本専売公社から納税されます。

### ◇電気税

電気、ガスの使用者に対し、電気料金の百分の五の割合で消費者から料金とともに徴収され電力会社から納税される。

### ◇木材引取税

製材業者等が、木材の素材を引取る場合に課税する税金で、国有林が多く、しかも財政の乏しい町村にとってはかけがえのない税源です。

### ◇特別土地保有税

昭和四十四年四月一日以降の土地の取得に対し(一万㎡以上)課税されます。但し農業、林業、用地はかかりません。

### ◇国民健康保険料

国民健康保険に要する費用にあてるため、被保険者である世帯主に課税されます。但し賦課事務は、保険課、徴収事務は税務課です。

# ご利用ください

## ◎集会・会合に

町長・担当課長が出席します町内会や部落集会などが開催されるときは、ご要望により、町長担当課長が出席し、ご相談に応じますから、事前にご連絡ください。

## ◎あなたも一言どうぞ!

金木町では、町民の皆さん方のご意見やご希望、苦情などお待ちしています。役場入口階段わきに「あなたの提案箱」を取りつけていますので、どうぞお気軽に投書して下さい。

## ◎みなさんからの相談をまっています。

金木町には、次のような相談員があり、みなさんからのご相談に応じています。

### ◎心配ごと相談員

毎週木曜日、午前十時より午後三時まで、役場三階会議室で相談にあたっています。問い合わせは民生課へどうぞ。

### ◎出稼ぎ相談指導員

出稼ぎ者の留守家族とともに、出稼ぎにまつわる諸問題を考えて解消していくのが出稼ぎ相談指導員です。金木町では、各区域ごとに一名、合計九名の方が指導員となっています。問い合わせは町民課へ。

人権擁護委員  
中谷仁太郎(川倉)・坂本義音

## (喜良市)・木立民五郎(嘉瀬)

伊丸岡浅五郎(喜良市)・伊藤儀市(金木)の五人が委嘱されており、地域住民の人権擁護と人権思想の普及高揚にあたっています。人権問題等の相談にはどうぞ。問い合わせは総務課へ。

## ◎行政相談員

日ごろ、行政について感じていることや問題等をみなさんと考え解決していくのが行政相談員です。金木町では、笹木正巳(金木)さんが相談員になっています。

## ◎保護司

金木町では、今平内さん(喜良市)、泉谷柁太郎さん(川倉)が委嘱されており、犯罪を犯した者の更生および社会復帰させるための更生を行なう他、犯罪の予防や地域社会の浄化にあたっています。

## ◎消費生活苦情相談員

物価上昇の今日、消費者の負担はますます大きなものとなっています。そこで起こってくる問題も限りがありません。それを、消費者と考え、消費者にかわって、行政に働きかけるのが苦情相談員の

仕事です。泉谷ひささん(川倉)が相談員になっています。また、企画室では、随時相談口を開設しています。

## ◎無料法律相談日

弁護士と相談したいことがらを持ちながら、なかなかその機会に恵まれなかった人たちのために、無料で法律問題について、弁護士によるより専門的な指導助言の機会を与える日です。

第一回目 五十年六月二十四日

第二回目 五十年十月二十四日

第三回目 五十一年一月二十六日

午後一時より、役場三階会議室で開催されます。こちらの問い合わせは企画室へどうぞ。

## ◎交通事故巡回相談日

交通事故が増加している今日、事故等にあわられても、法律によわいために泣き寝入りしている方も多いことでしょう。県では、このような方々のために、交通事故巡回相談日を設けています。北郡地区は、五所川原市役所において、毎月一日に相談を受けています。このほか、金木町役場町民課窓口においても相談を常時受け付けていますので、県の相談を受けにくい方も町民課を通してからいこうにしましょう。

# 犬の放し飼いはやめましょう

今月下旬より、野犬の捕獲が始まります。犬を放し飼いにしている方は、首輪をつけてつないでおきましょう。

# 上水道工事に伴う

## 相談日開設

上水道工事のため、町民各位に大変ご迷惑・ご不便をおかけいたし、誠に申し訳ありません。  
上水道工事について、苦情や疑問があるかと思いますので、相談日を開設し、上水道工事に関する一切の苦情を処理し、どんな疑問でもご説明いたします。

◎苦情について  
毎日受付いたします  
◎疑問等の説明  
毎週木曜日  
九時より十五時まで  
(場所)  
金木町水道管理事務所  
☎(3)2111 (内線26・27)  
(2)4413



「誕生おめでとうございます」  
(5月届出分)

「結婚おめでとうございます」  
(5月届出分)

油谷 行彦 (光雄) 長男 喜良市  
川村美由紀 (克雄) 長女 金木  
角田 剛士 (惣七) 長男 金木  
中谷 記子 (要造) 長女 川倉  
山中 友彦 (弘海) 長男 嘉瀬  
藤元 孝幸 (清則) 長男 喜良市  
池田 直人 (裕) 2男 金木  
古川 美樹 (隆男) 長女 喜良市  
松川 優子 (征) 長女 嘉瀬  
飯塚 正明 (清光) 2男 嘉瀬  
鳴海 文子 (勇) 長女 嘉瀬  
白川喜代美 (勝春) 長女 川倉  
鳴海 政洋 (孝一) 長男 嘉瀬  
中谷 千香 (信次) 長女 金木  
虎谷 和彦 (真人) 2女 金木  
原田 絵美 (勇悦) 長男 中柏木  
工藤 真嗣 (孝) 長男 川倉  
黒滝真紀子 (清三) 2女 金木

齋藤 幸雄 (礼一) 長男 嘉瀬  
舛甚イエ子 (万次郎養女) 嘉瀬  
長野 量深 (昇) 3男 福岡県  
斎藤 光子 (正利) 2女 金木  
今 重雄 (重一) 長男 喜良市  
工藤 縫子 (兼次郎長女) 市浦村  
葛西恵美子 (清) 長女 五所市  
船本 昌充 (孝雄) 2男 北海道  
瀬尾 幸子 (猛夫) 長女 金木  
八田 彰 (実) 長男 愛知県  
田中 和子 (平内) 5女 金木  
宮崎 勝 (与市) 3男 喜良市  
井口 陽子 (定治) 4女 新潟県  
千葉 義雄 (清三) 長男 五所市  
山中 信子 (功広) 2女 嘉瀬

下田 明夫 (鉄之助4男) 金木  
大佐賀真理子 (春男長女) 川倉  
竹内 良児 (米作) 2男 金木  
小野 明子 (治郎) 長女 平賀町  
石山 力 (金助) 6男 青森市  
棟方 紀子 (善四郎長女) 喜良市  
三上 武三 (正介) 3男 喜良市  
藤田 淑子 (良三) 長女 弘前市  
阿部 文昭 (勇三) 3男 金木  
石川ますみ (行雄) 3女 五所市  
太田 勝雄 (武雄) 4男 弘前市  
泉谷久美子 (隆蔵) 3女 川倉  
対馬 要一 (要) 長男 川倉  
永坂真理子 (昇栄) 長女 小泊村  
鳴海 保幸 (保与) 長男 喜良市  
土士田八重子 (昌訓) 4女 東京都  
秋元 文良 (金五郎) 4男 嘉瀬  
角田 良子 (宗作) 5女 金木  
宮島 昇 (賢治郎) 3男 静岡県  
三橋 美保 (政美) 長女 藤枝  
岡田 文昭 (勇三) 長男 喜良市  
高橋真理子 (賢二) 2女 北海道  
成田 俊一 (藤一郎長男) 喜良市  
中村美津子 (富雄) 長女 金木  
阿部 定幸 (定雄) 長男 金木  
中元 幸子 (武太郎) 4女 五所市  
浜野 修一 (弥市) 長男 小泊村  
三上 律子 (市太郎) 3女 神原  
山田 勝弘 (勝見) 長男 金木  
成田 幸 (助作) 長女 小泊村  
野杉 博隆 (成竜) 長男 石川  
泉谷 せつ (宗佐美) 5女 川倉

# 交通災害共済へ 加入しましょう

一日一元 (年額三五〇円) で

大きな補償

一、この共済でお支払いするのは  
自動車、モーターバイク、自転車、農耕用小型特殊自動車、荷車などについて衝突したり、転落・転覆したりした事故、または歩行者とこれらの車輛による事故や乗車中に起きた事故に対してです。  
二、お支払いする見舞金は  
(一)亡くなられた時……五〇万円  
(二)治療日数一八〇日以上……一〇万円  
(三)治療日数九〇日以上……一八〇日未満……五万円  
(四)治療日数三〇日以上……九〇日未満……二万円  
(五)治療日数七日以上……  
三〇日未満……五千円  
三、見舞金をもらうには  
町役場で見舞金請求の続きをしてくださいます。見舞金請求には、会員証・交通事故証明書 (警察で証明してくれまます) と医師の診断書が必要です。  
四、加入申込は  
青森県交通災害共済組合金木支部役場町民課窓口で受け付けます。申込みと同時に会費を納入していただきます。  
五、会費 (掛金) ・共済期間は一人につき三五〇円で、加入したときから一年です。

おくやみ申しあげます  
(5月届出分)

津田 ヨシ (75才) 嘉瀬  
中谷 清七 (70才) 川倉  
三橋 久美 (41才) 蒔田  
中村 一子 (22才) 金木  
白川 永吉 (85才) 川倉  
成田 光男 (62才) 中柏木  
松尾 タキ (94才) 金木  
伊丸岡拓雄 (15才) 喜良市  
中村 きさ (63才) 喜良市  
木村 やちよ (52才) 中柏木  
小松 正彦 (39才) 嘉瀬